

## 医薬安全対策の最近の動向

厚生労働省医薬安全対策課長が日漢協で講演

2017年7月21日(金)、KKRホテル大阪において行われた日漢協第204回理事会終了後、厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課の佐藤大作課長を招いて講演会が開催された。

タイトルは「安全対策の最近の動向について」で、次の5項目を取り上げた。

- ◆ 医薬品ライフサイクル全体でのベネフィット・リスク評価と安全対策
- ◆ 安全対策のエコシステムの今後
- ◆ ガバナンスとコンプライアンス
- ◆ 医療現場に正確な情報を迅速に提供し、役立てる
- ◆ 最近の個々の安全対策の話題

平成30年度からシステムが本格運用されるMID-NETを活用した安全対策について詳細な説明があった。

また、安全管理上の問題に対する処分事例をあげ、三役留意事項通知発出の経緯を説明した。  
さらに、コデイン類含有医薬品の小児に対する使用や高齢者のポリファーマシーによる安全性の問題、一般用生薬製剤の承認基準など最近の話題を解説した。

最後に、医薬安全対策課として、「ベネフィットの最大化・リスクの最小化・コストの最適化を目指し、安全対策の向上に努める」と締め、講演を終了した。



【佐藤大作 課長】

